

令和元年（2019年）度第3回今治市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和元年10月25日（金）10：00～11：30

場 所 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号

出席者

・委員：越智 博，窪 仁志，門田 正孝，渡辺 範之，平野 勇夫，赤尾 宣宏，
上岡 大悟，高橋 節哉，島崎 義弘，三好 哲，新居田 昌彦，
砂田 篤志，丹下 隆志，阿部 克也，吉良 雅文，村上 恵子，
松村 暢彦，菊池 勝二，西山 保幸，豊嶋貴康（代理）
（欠席）稲荷 和重，田所 秀志，島村 裕之，佐々木 勇太，村上 友則

・事務局：企画財政部 越智部長
地域振興課 武田地域振興局長（兼）地域振興課長、越智課長補佐，
丹下係長，吉川主事
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ（計画策定業務委託先）

1 開 会

企画財政部長：

失礼いたします。定刻がまいりましたので、只今から「令和元年度第3回今治市地域公共交通活性化協議会」を開会させていただきます。

私、今治市企画財政部長の越智と申します。お手元に配布いたしております会次第に従いまして進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議には委員総数の過半数のご出席がございますので、本会が成立しておりますことをご報告いたします。

また、本会は原則公開で行うこととしておりますので、本日も公開とさせていただきますと思います。

（配布資料確認）

続きまして、開会にあたりまして、今治市副市長 越智博より、ご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ（今治市副市長）

越智会長：

皆様、おはようございます。

（各委員：おはようございます。）

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃より当市行政の推進に関しまして、格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本協議会におきましては、今年度中の「今治市地域公共交通網形成計画」策定に向けた取組みを進めているところでございますが、前回2回目の協議会で皆様にご審議いただきました市民アンケート調査並びに、バス・航路利用実態調査など各種調査が終了したところであり

ます。

本日は、調査の結果を皆様にご報告し、現状をご認識いただくとともに、調査結果を踏まえまして、計画の基本的な方向性を示した骨子案について、ご審議いただきたいと考えております。

委員の皆様には忌憚ないご意見をいただきながら、会議を進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

企画財政部長：

(欠席委員について紹介)

続きまして、次第3「議事」に移りたいと思います。

ここからは進行を越智会長にお任せいたします。お願いいたします。

3 議 事

(1) 各種調査の結果等について

越智会長：

それでは議事に入らせていただきます。

まず、「(1) 各種調査結果について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。

事務局（地域振興局 越智補佐）：

事務局の越智でございます。こちらの各種調査結果につきましては、調査委託先事業者でありますオリエンタルコンサルタンツよりご説明いたします。

オリエンタルコンサルタンツ（土崎）：

(資料2、3、4、5、6に基づき各種調査結果について説明)

越智会長：

大変、ありがとうございました。ただいまの事務局からの報告について、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

丹下委員：

観光客アンケート調査結果ですが、調査の実施概要のところ、対象が一般観光客とサイクリング観光客それぞれ100部ずつということですが、これを実施した場所の内訳はあるのでしょうか。それによって、観光施設の数字等にかなり影響が出ると思うのですが、そこだけ教えてください。

オリエンタルコンサルタンツ（土崎）：

1頁の表1の所に対象ということで簡単に記載しておりますが、一般のWebモニターと書いておりますが、楽天インサイトというWebモニターのある会社があるのですが、そちらを通して、過去に今治市に来訪したことがある方に対してアンケートを実施しているということで、どこかの施設で実施したということではありません。

越智会長：

よろしいですか。

吉良委員：

どういう年齢層を対象に実施していますか。

オリエンタルコンサルタンツ（土崎）：

観光案内の所でしょうか。

吉良委員：

ずっと万遍なく、20代から80代まで対象にしているのですか、それとも偏っていますか。

オリエンタルコンサルタンツ（土崎）：

観光客アンケートの年齢につきましては、3頁に一般の観光客の年齢の内訳がありまして、アンケートをとった結果こうなったということです。一般の観光客では、50代、60代の方が多くて、40代でも3割近くいるということです。

吉良委員：

利用実態調査についてはどうですか。

オリエンタルコンサルタンツ：

利用実態調査につきましては、資料2になりますが、基本的に乗っている方全員に調査しているということで、各路線別の右側にあるグラフに示しております。

吉良委員：

ありがとうございます。

越智会長：

他にありませんか。

越智会長：

なにしろ膨大な資料でございます。会の終了後、ご確認をしていただければと思います。他にないようでしたら、以上で「(1) 各種調査の結果等について」を終わりたいと思います。続いて、「(2) 今治市地域公共交通網形成計画骨子（素案）について」を議題とします。事務局に説明を求めます。

(2) 今治市地域公共交通網形成計画骨子（素案）について

事務局（地域振興局 越智補佐）：

（資料7に基づき、今治市地域公共交通網形成計画骨子（素案）について説明）

越智会長：

ありがとうございました。「公共交通網形成計画骨子（素案）」として、本協議会に提案させていただいているものです。ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問などございませんでしょうか。

松村副会長：

非常にわかりやすくまとめられていると思います。それと、先程の調査なんかでもなかなかこれだけきっちり現地調査した事例はあまり見たことがなかったので、非常に丁寧な調査をされたと感服しています。そういう実態調査に基づいて適切な目標を掲げられていると思うんですがまず1点、追加といたしましょうか、裏面の方針2の目標5で「誰にでも分りやすく利用しやすい環境整備」とあるのですが、あまり好きではないのですが、最近交通の業界ではMaaSという言葉がさかんに出ています。それは、交通モード間の連携を図っていこうというもので、別段スマホが必須というわけではないのですが、スマホを使ったような形で交通手段間の

垣根を越えていこうという動きです。そういうような動きを考えますと、今治市の特に島しょ部ですね、バスと船とレンタサイクルという自転車と、それから観光客という観点でいうと鉄道ということで、様々なモードが交錯しているのが分り難い環境にあったと思うのですが、それが今回のM a a Sという考え方によって、その垣根を越えられる可能性があるということを考えれば、この目標5でもそういった事を意識した記述を入れても良いのかなという気がしました。国の方でどんどん進められていることを考えると、様々なプロジェクトであったり補助金ということも考えられるのじゃないかということを思います。もう1点なのですが、おとといですね宇多津町の方で「全国道の駅のシンポジウム」がございました。私もパネリストの一人で参加してきましたのですが、そこで強調されていたのが道の駅というのは第三世代に入るんだと、第二世代というのは道の駅を目的にしたような場所、これは今治の様々な道の駅がまさにそうだと思います。さいさいきて屋にしてもそうです。それだけではなくて、これからはM a a Sということも考えながら、特に防災機能であったりとか、それから観光機能の強化ということを強調されていました。その中で、道路局長さんと話をしたのですがその時に、公共交通の結節点として道の駅を活用したいということをお話されていました。その発想には私も非常に賛同するところが大きいのですが、にもかかわらず現状では全国の道の駅1,160箇所あるらしいのですが、道の駅の中にしっかりバス停が確保されているのが10%にも満たないような状況だということを考えると、道の駅と公共交通の連携ということを視野に置いた方が良いのじゃないかと思います。そういうことで言うと、新たな利用者の確保の所でそういうことを意識した書きぶりもあるのかなということで、以上2点、目標4と目標5についてそれらを念頭におきながらの説明の仕方もあるのかなと思いました。以上です。

越智会長：

ご意見いただきました。いただいたご意見について、委員の皆様何かございませんでしょうか。

窪委員：

松村先生からM a a Sの話が出ました。私、JR四国の愛媛企画部の窪と申します。よろしくお願ひします。弊社でも、持続可能な公共交通ということで、シンポジウムを開いたり、色々な懇談会を行っておりますが、我々もM a a Sの考え方を進めていこうという方針で検討を重ねております。ただ、松村先生が言われているようなスマホといった物だけには頼らず、まずは交通事業者間でネットワークを築くこと、この網形成計画骨子（素案）の方針1「安全で快適な暮らしを支える公共交通確保」がありますが、その中の目標2「地域住民・事業者・行政の連携向上」があります、施策の「路線の運行ルール」がどういうことか良くわからないのですが、とにかく各交通モードで色々な事をやっていたのをM a a Sという一つのテーブルの中で検討して、地元の皆さんに使いやすい物になれば1番良いのかなというところで、県の上位計画の中でもこういうお話をさせて貰っています。交通結節点での利便性の向上、これをコンパクトシティをつくるという上でも、自治体の皆様の方にも力添えをいただけたらうれしいなと思っております。先生が言われたように、今日いただいたアンケート調査、私も沿線自治体のこのような会議に出席しておりますが、ここまでまとまっているのは初めてでして、非常に興味のある資料で、興味と同時にここまで自動車に依存している市民の方々の意識をどう改

善して、公共交通に目を向けていただくかという取り組みは、非常に大変だなとつくづく思っている次第です。骨子の中にありますように、低炭素移動手段の確保というところもありますので、是非市民の皆様にも少しでも公共交通を使っていただけるように、公共交通が使い難いのは重々分かっておりますが、なかなか今ある施設を新たな施設に変えていくというのは、非常にお金もかかりますし大変なことなので、限りある今の設備を効率的に使えるような努力を皆さんと一緒に進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

越智会長：

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

村上委員：

方針の3、「みんなで公共交通を守り・育てる」というのは、すごく良い考えだと思うのですが、これってある程度つながりがなくなかなか育っていかないのじゃないかと思います。色々な交通機関がここではこういうふうに連携してつながっている、これに乗ったらいいよというのが誰にでも分かるような時刻表があれば良いと思います。特に高齢者の免許を返納した人、免許を返納したけど公共交通が不便で困っている、タクシー代に困っているという方がたくさんいらっしゃるの、これが1番身近な問題だと思っています。違った話なのですが、私も島に住んでいるのですが、広島県につながる高速バスですが県境で降りたり、乗ったりする規制がありますよね。全面、乗ったり降りたりできればどんなに便利かと思うのですが。

阿部委員：

この会は公共交通に関する協議会ですが、過疎の地域の路線ですが、収益率が20%、25%で、維持していくにはやはりお金がかかります。それを、クリアしていくには公共交通だけで解決するのは無理だと思います。だから事業者の方が空いている時間のバスを提供するとか、もちろんこれは組合との問題も絡むのですが、市民のためになる事を考えなければならない。また民間にこの路線に限ってやってくれというようなことを活用しながら、事業者の方との合意が必要ですが、そういうことに踏み込んでいかないと、また、絵に書いた餅になると思います。民間の力を借りて、頼むところは頼んで、踏み込んでいかないと本当の物は出来ないと思います。以上です。

越智会長：

他に何かご意見ございませんでしょうか。

赤尾委員：

航路の方を担当しておりますが、利用者が減らない方法を常に考えています。私も高齢者になって来まして、交通について自家用車で通勤するとか、買い物に行くとか、いままでは当たり前だったのですが、これから考えていかないといけないのはやはり、公共交通を利用して買い物に行って、どういうふうな時間帯を使って帰れば自分の目的が達成できるかということだと思います。自分の目的達成のために自家用車で走るのではなくて、公共交通機関の組合せ、どう時間を有効に使うか、病院に行って、買い物して、帰る時には何時何分のバスがあるからそれで帰るんだということを考えて行動する、そうすれば、色々と問題となっているお年寄りの事故の問題も減ってくるんじゃないかと思います。出来るだけ健康管理のために徒歩にするとか、そういうことを皆なで考えていく中で、公共交通を育てていくのが良いと、最近思ってい

ます。

越智会長：

ありがとうございました。委員の皆様から、M a a Sという考え方の取り入れ、道の駅の結節点としての活用の考え方、誰にでも良くわかるガイドなどの情報発信、経費を考えた事業者との連携、民間活力の導入というご意見もいただきました。また、利用者の目的達成のための公共交通機関のあり方を皆で考えていけないといけないというご意見をいただいたと考えております。今治市の網形成計画の策定に必要なご意見かと考えます。これらのことにつきまして、今後骨子に反映させて行く方向で進めたいと思いますが、いかがでございますか。

(各委員拍手)

越智会長：

ありがとうございます。皆様からいただきましたご意見については、骨子に反映させていただくことで計画を進めさせていただきます。

他に、ご意見ございませんでしょうか。

越智会長：

それでは、以上で次第3議事を終了いたします。続きまして、次第4「今後の協議会のスケジュールについて」、事務局に説明を求めます。

4 今後の協議会スケジュールについて

事務局（地域振興局 武田局長）：

失礼します。事務局長の武田でございます。私の方からは、今後の協議会スケジュールについてご説明させていただきます。

(資料8に基づき、今後の協議会スケジュールについて説明)

越智会長：

ありがとうございました。ただいまの説明に対し、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

越智会長：

特に無いようでしたら、次第4「今後の協議会スケジュールについて」を終了いたします。以上で、本日の議事が終了いたしました。皆様、ありがとうございました。今後とも、ご協力よろしくお願いいたします。それでは、事務局にお返しします。

5 閉 会

企画財政部長：

以上をもちまして、令和元年度第3回今治市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。

(了)